



## 経験と実績

横浜市議員

# かじむら充 みつる

は目指します。

## 令和4年横浜市予算から

### 旧上瀬谷通信施設に 「花・緑・農・水のある都市づくり」 国際園芸博覧会の推進。

2027年3月の開催を目指し、会場建設費の補助、認知度向上の取り組み、交通渋滞の解消などに3億5800万円。



国際園芸博覧会ホームページ: <https://expo2027yokohama.jp/>

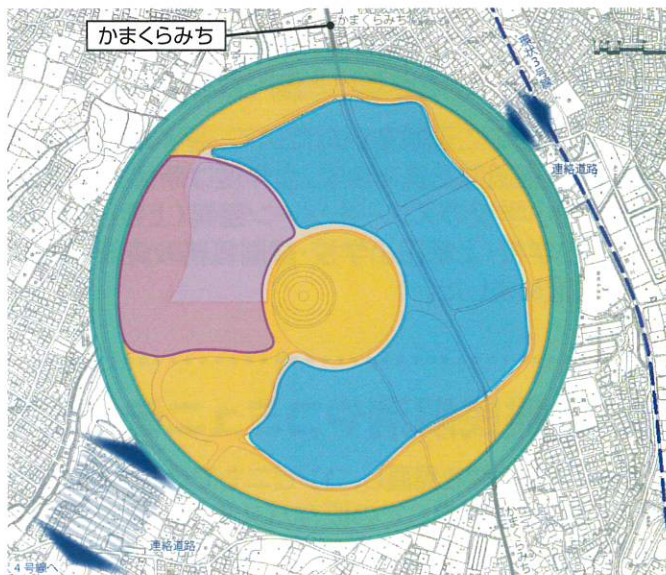
### 旧深谷通信所跡地に公園と公園型墓園、外周道路整備に向け、 環境影響評価の手続きへ。

全体を四つのゾーンに区分しての整備を目指します。

- ① 「ふれあいとにぎわいの広場ゾーン」と「スポーツパークゾーン」を50haの範囲に整備する。広場ゾーンは地域交流・イベント・災害時には避難場所・応急仮設住宅の建設用地としての活用。スポーツパークゾーンは、野球・サッカー・陸上競技場・テニスなどのスポーツを楽しむゾーンとして活用。
- ② 「緑とやすらぎのメモリアルゾーン」は緑豊かな公園型墓園。面積は12ha 芝生型約1万5000区画と合葬式約3万体の納骨施設を整備。遠路は開放して散歩や憩いの場として活用。
- ③ 「外周道路ゾーン」は約50m 幅員の道路として整備。ジョキングやサイクリングなどを楽しむ約15haの空間とし、既存のかまくらみちやこれから整備する環状3号線、環状4号線との連結道路との交差部は環状交差点(ラウンドアバウト)を整備する。  
整備の概算事業費は約400億円と試算しています。

【深谷通信所跡地のゾーニング計画】

- ふれあいとにぎわいの広場ゾーン
- スポーツパークゾーン
- 緑とやすらぎのメモリアルゾーン
- 外周道路ゾーン



横浜市 HP: 深谷通信所跡地利用基本計画(案)

## 「市民生活と経済活動を支える都市づくり」として令和5年3月の開業に向け、相鉄・東急直通線の工事や準備に81億4000万円を充てています。

東京へ。横浜へ。直接乗入れる事が出来、9つの駅を区内で利用できる泉区の有利さを生かした都市づくりを

- 残すべき農地は相談の上集約し、大胆な規制改革をして、持続可能なまちづくりを目指します。
- 市営地下鉄の駅周辺のリノベーション・用途地域の見直しをし、駅を中心にコンパクトなまちづくりを目指します。

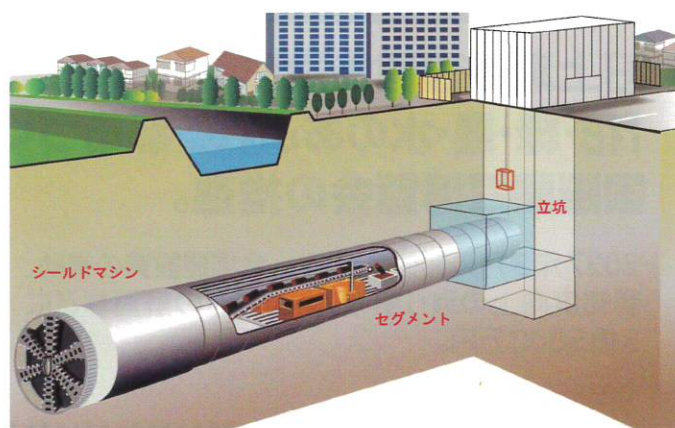


## 「災害に強い都市づくり」

過去に浸水被害を受けた地域において、雨水幹線の整備を推進します。

●西部処理区中和田雨水幹線下水道を整備します。和泉中央北2-27-6～和泉町1290番地までの1700m区間に1650ミリ～2200ミリの雨水管をシールド工法で敷設し和泉川へは2400ミリのボックスカルバートで接続放流します。29年度に供用を開始し、中和田地区約104ヘクタールの浸水被害を解消します。長後街道からかまくらみちを抜け和泉川に放流する工事で、全体工事費は約38億6000万円と見込まれています。

●西部処理区中田南雨水幹線下水道を整備します。鯉ヶ久保ふれあい樹林～葛野小学校までの約1050mにシールド工法で内径1350ミリの雨水管を推進し、東中田第二雨水幹線に接続放流する。29年度に供用を開始し、中田南地区の流域益7ヘクタールの浸水被害を解消します。全体工事費は約22億円と見込まれています。



シールド工法イメージ

## 「通学路等安全対策事業」前年度より大幅に予算計上いたしました。

昨年は私の生まれ故郷である千葉県八街市での悲惨な児童死亡事故による国(私から直接、すが前総理に要望し実現しました)からの通知に基づき対応や、スクールゾーン対策協議会での長年にわたる点検を踏まえ、歩道設置などの通学路の安全対策を重点的に進めます。予算は40億3054万円と昨年比8億円増としました。

●地域の方々のご理解をいただいて、通学路における歩道設置のため歩行空間の確保をし、積極的に歩道設置を進めます。今年度は新橋小学校のスクールゾーン整備(宮沢第306号線)東中田小学校のスクールゾーン整備(上飯田第354号線)などを進めます。既に中田中学校・中田小学校・上飯田小学校・緑園義務教育校・和泉小学校など区内の学校のスクールゾーン整備を進めました。



## 買い物難民解消やコミュニティバスの拡充を

- 土地の用途地域を見直し、コンビニもできない地域の解消を図り、住んでいる身近で買い物などができるようにします。
- 新しい道路を利用しての既存バス路線の見直しや、小型車両の実証実験や、デマンド型交通の実証実験を進め、駅や商店街までの移動にコミュニティバス等の拡充を目指します。